

なは市民活動支援事業 中間報告



なはセン通信

Vol.1112025年
11月号

目次

なは市民活動支援事業	P.1
なは市民協働大学	P.2
なはSDGs推進事業	P.3
なはセンについて	P.4

問い合わせ

なは市民活動支援センター
098-861-5024
C-KATU005@city.naha.lg.jp

過去の記事



なは市民活動支援センター
ホームページQR

10月3日(金)に令和7年度「なは市民活動支援事業」の中間報告会と交流会が開催されました。今年度採択された12団体が一堂に会し、活動経過や課題を共有することで、新たな気づきや学びを得る機会となりました。

前半の中間報告会では、12の採択団体が事業の進捗状況や課題について発表しました。採択後から取り組んできた活動について、成功事例だけでなく、課題や試行錯誤の過程も共有されました。例えば、「インスタグラム広告を活用したが、集客が思うように進まなかった」という具体的な課題や、「事業を通して新たなつながりが生まれた」というポジティブな成果が発表され、他の参加者にとっても参考になる発表が多くありました。

また、全体像を把握する機会になったとの声もあり、参加者からは「他団体がどんな活動をし

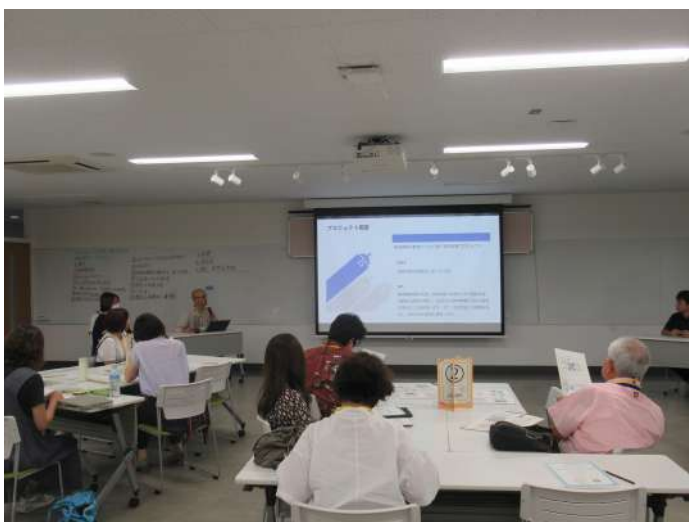


ているのか理解できた」といった感想が寄せられました。

後半の交流会では、参加者同士の自己紹介や意見交換が行われました。「今回の事業で嬉しかったこと」「悩んでいること」をテーマにした話し合いの中で、助成金の使い方や集客方法に関するアドバイスが活発に交わされました。市民活動をするなかで、他団体と交流を深め、成果や課題を共有する機会は少なく、交流の重要性を改めて実感した様子でした。さらに、集客の難しさなど、他分野での活動に共通する課題にも触れることで、互いに影響し合う場となりました。

た。「課題を隠さずに共有することで、話すきっかけが生まれる」との感想もあり、今後の活動に向けた新しい視点が得られたようです。

今回の報告会と交流会を通じて、全体的には「大きな学びと気づきを得られた」との声が多く、参加者同士がつながりを深める貴重な機会となりました。これからも団体間の連携を深め、課題を共有しながら、成果発表会・実績報告まで伴走していきます。



令和7年度なは市民協働大学 第4回講座

小緑地域の取り組み
「たのしむぞ〜06」の事例から



9月25日(水)、第4回なは市民協働大学を開催しました。今回の講師は、那覇市小緑地域・ひよどり公園を拠点に活動する市民団体「たのしむぞ〜06」の皆さん。

「たのしむぞ〜06」は、なは市民協働大学院から生まれた市民団体で、これまで鏡原中学校の生徒を中心としたボランティアメンバー(たのしむぞ06)と共に、地域の顔が見える関係づくりを目的としたイベントを数多く実施していきま

した。
当日は、中学生・高校生ボランティアも参加し、活動を通じて感じたことを

当事者の声として共有してくれました。「地域の方と話す機会が増えてコミュニケーション力が上がった」「自分の意見を伝えることに自信が持てるようになった」などそれぞれがボランティアを通じ成長を実感しているのがとても印象的でした。彼らの言葉には、地域の中で《自分が誰かの役に立てている》という実感がこもっており、会場の受講生にも新たな気づきを与えてくれました。

こうした若者の関りをきっかけに、「たのしむぞ〜06」は、小緑南小学校区まちづくり協議会にも参加し、地域の新しい担い手として活躍しています。その結果、同協議会の構成員の平均年齢は58歳から38歳へと大きく若返りました。こどもや若者の意見が地域のイベント運営に反映され、「自分ごと」として地域の課題を考える環境づくりが少しずつ形になりつつあるなど、地域の将来に向けた希望を感じるお話を伺うことができました。

講座後半のグループワークでは、講師と受講生が一緒に「わくわく(魅力)とは何か」について意見を交わしました。さらに、「わくわくしない(魅力的ではない)とは何か」もあわせて考えることで、「魅力」の本質を掘り下げました。「誰かの笑顔が見られること」「自分のアイデア



たのしむぞ〜06とたのむぞ06の皆さん

を聞いてくれること」「無理なく活動が続けられること」など多様な、わくわくが語られました。「わくわくしない」側面を話す場面では、たのしむぞ〜06が経験した現場でのリアルな悩みが共有されました。

質疑応答の時間でも、こども・若者が参加する仕組みや、活動を継続するための資金に関する事など、活発な意見交換が行われ、やり取りの中でさらに魅力

ある活動に必要なヒントを得られる時間となりました。
世代を超えて地域の中に小さな「わくわく」を見つけ合い、それを分かち合うことが、地域への参加の一步になると思います。今回の講座は、こどもから大人まで、立場を越えて「地域を楽しむ力」と「つながりの芽」が確かに広がっていることを実感できる、あたたかな時間となりました。
今後の展開も楽しみです！



グループワークの様子

令和7年度なは市民協働大学 についてはコチラから！

なは市民活動支援センターのホームページでは、令和7年度なは市民協働大学の詳細を掲載しています。次年度の受講の参考に、ぜひご活用ください！



令和7年度なは市民協働大学 令和7年度なは市民協働大学 令和7年度なは市民協働大学



中学生、高校生が主体的にイベントを企画・運営を実行まで持つのは、とても大変だと思うが、大人も含めて楽しみながら進めているのが見えた。

グループワークの様子

令和7年度なはSDGs推進事業（助成事業）

まーいまーいケアサイクル 地域円卓会議

令和7年度なはSDGs推進事業（助成事業）地域円卓会議が、去る10月8日（水）にまーいまーいNaHaで開催されました。

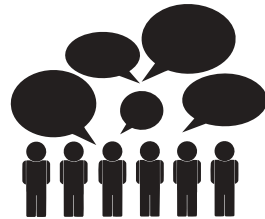
なはSDGs推進事業は、SDGsの達成に向けて、社会課題の解決や社会価値の向上に資する事業を行う団体等に助成金を交付するもので、事業2年目にはその活動を市民、企業から《出資》という形で応援してもらい、予め設定した成果目標を達成すれば、出資者へ元本・分配金の支払いを本市が行う「成果連動型補助金SIB」という、まちづくりの新しい資金調達手法（ソーシャルインパクトボンド）を用いています。

今年度採択された「まーいまーいケアサイクル（株式会社大翔）^{おおしょう}」は、仲井真小学校区をモデル地域として、「訪問型サービスA」の制度を活用し、地域の新たな担い手として高齢者を「訪問型サービスA」の従事者として養成し、高齢者の健康促進や生きがいの創出と介護人材不足という2つの課題を同時に解決することを目的としています。

校区まち協をはじめとする地域の市民や関係団体、那覇市、大学教授などが円卓会議着席者となり、訪問型サービスA事業と介護保険サービスについて、仲井

真小学校区の特徴、高齢化や地域課題など、様々な視点からの現状報告や課題の共有が行われました。

参加者からは、校区まちづくり協議会と小中学生などが連携することで新しい形の地域交流や支援が生まれる可能性の提案や、高齢者のプライバシーの問題など活発な意見が交わされ、次年度の事業の本格実施や「出資者」という応援者を得る事への期待が高まる会議となりました。



ボランティアまっちゃんぐコーナー

那覇市人材データバンク

～那覇市のボランティアマッチング～



登録する

ボランティアをしたい方！団体！ボランティアを探している団体もまずは登録から！



団体を探す

ボランティアを募集している団体を見ることができます！どんなボランティア活動があるかチェックしてみてね！

令和7年11月13日(木)

初めてのボランティア講座

こどもの居場所ボランティア

～こども食堂や学習支援のボランティアをしてみませんか～

こどもの居場所（こども食堂、学習支援など）でボランティア活動を始めてみたい方を対象に、ボランティア活動を行うための基礎知識や心構え、運営の楽しさを学びます。後半は「こどもの居場所運営スタッフとの交流会」を予定しています！

令和7年11月13日(木)18:30～20:30

なは市民活動支援センター会議室1

対象:ボランティアを始めてみたい方

ボランティア初心者 20名

募集期間:～令和7年11月10日(月)

申込方法:下のQRコードまたはお電話でお申込み下さい。

電話番号:098-861-5024



お申込はこちら



なは市民活動支援センターについて



◆利用ご希望の方へ

なは市民活動支援センターの会議室等を利用ご希望の方は、「**利用登録**」が必要です（※利用審査があります）。
右のQRコードより利用方法をご確認ください。



◆施設利用料金

※1時間当たりの料金
※オンライン機材貸出可

	定員	面積	料金	冷房
会議室①	8 4 人	約200㎡	1300円	400円
会議室②③	8 0 人	約200㎡	1300円	400円
会議室③	3 0 人	約100㎡	650円	200円
会議室④	8 人	約40㎡	200円	100円
会議室⑤	1 2 人	約30㎡	200円	100円
会議室⑥	1 2 人	約30㎡	200円	100円
会議室⑦	5 人	約30㎡	200円	100円
会議室⑧	2 0 人	約45㎡	250円	100円
研修室①	1 6 人	約30㎡	200円	100円
研修室②	1 6 人	約30㎡	200円	100円

◆開館時間、休館日

月・火・木・金	9：00-21：00
水・土・日	9：00-17：00
休館日	年末年始・慰霊の日

◆駐車場

なは市民協働プラザ地下駐車場（駐車台数：39台）
メカルパーキング（駐車台数：70台）
※なは市民活動支援センターをご利用の場合、駐車料金は減免の対象となります（例：2時間100円、3時間200円）

フードドライブやってます！

フードドライブとは、お中元などで、ご家庭で賞味期限は切れていないが保管されたままになっている“もったいない食料品”を、なは市民活動支援センター利用登録団体の困窮支援・女性支援・子ども食堂を運営している団体へお渡しする活動です。

「もったいない」から「ありがとう」へ変えていきませんか？



ご注意 いただきたいこと

1. 賞味期限が明記され、かつ6か月以上あるもの
2. 常温で保存が可能なもの
3. 未開封で、中身に問題がないもの

ご寄付 いただきたい食料品

お米、乾麺、缶詰、瓶詰、インスタント、保存食、など



よろず相談

市民活動、NPO設立・運営等に関する相談サービスです。相談ご希望の場合は、下記のQRコードより、ご予約下さい

【水・木・土】
10：00～17：00
【火】
14：00～20：00



申し込みフォーム